

大隅半島南部における植物採集記録

森田 康夫*

The report of the plant collection on the southern area of Osumi Peninsula, Kagoshima Prefecture
Yasuo MORITA

はじめに

大隅半島南部は、太平洋の黒潮洗う海岸線から標高800～900mの山岳に至るやや急峻な地形を擁する地域で、交通の不便な面もあって、近世までは深い森の残る自然豊かな地域であった。20世紀以降多くの入植と開墾が進み、この一帯も大部分が耕作地や放牧地となって、原始的な森林は自然環境保全地域に指定されている稲尾岳や木場岳の山頂付近以外はほとんど見られなくなっている。それでも温暖で湿潤な気候の海岸線から暖温帯上部に位置する山岳地まで、多様な自然環境に恵まれており、九州本土最南端という地理的要因も合わさって、南西諸島から北上した亜熱帯植物の北限地として、また四国・九州の山間部から南下した北方系の植物の南限地として、さらにこの地域固有の植物も含めて、実に多種多様な植物相を観察することができる。

当県立博物館では、県内外の豊富な自然資料を収集して標本にし、それらを収蔵する目的で実施している「触れ見る知る自然資料収集整備事業」に基づき、2004年の9月1日から3日までの3日間にわたって、大隅半島南部域で植物資料の収集を実施したのでその結果を報告する。

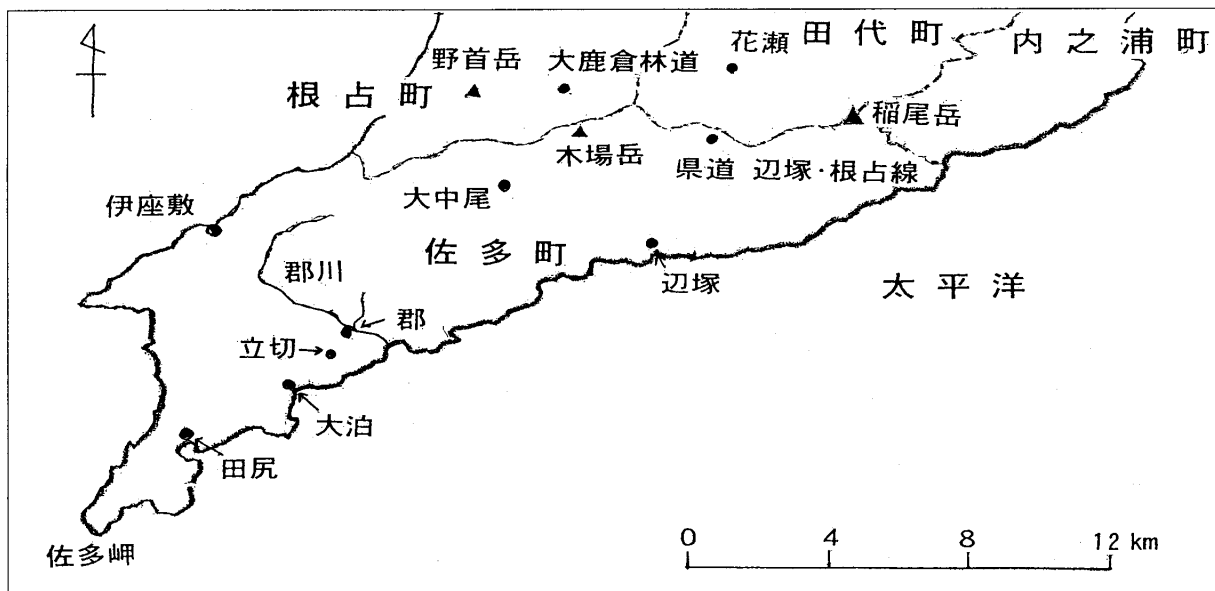


図 大隅半島南部 資料収集域

* 〒 892-0853 : 鹿児島市城山町1-1 鹿児島県立博物館

調査では、3日間という短い期間を有効に利用するため、この地域の植物分布に詳しい元当館学芸指導員の丸野勝敏氏に同行を依頼した。丸野氏には、代表的な植物相を観察できる地域への案内のほか、収集植物の同定についてもお世話になった。また、疑問種等の同定で鹿児島大学名誉教授の初島住彦氏、収集資料の標本化と同定で植物ボランティアの篠崎チサ氏にもお世話いただいた。この場を借りて厚くお礼申し上げる。

なおこの地域には、稲尾岳と木場岳の山頂周辺に国が指定した自然環境保全地域があり、佐多岬付近には霧島屋久国立公園の特別保護地域がある。今回、それらの地域に立ち入ることのないよう十分注意した。

1 資料採集地の概要

主な採集地の状況についてその概略を述べる。(図参照)

(1) 佐多町 郡川中流

県道浜尻～馬籠線沿いの郡川中流域はメサ地形と呼ばれ、川の両側に侵食された切り立った崖が形成されている。河岸はうっそうとした森に覆われ、スギの人工林も見られるものの、湿った林内には多種多様な植物が生育している。

(2) 根占町 木場岳

木場岳の北側斜面を東西に延びる大鹿倉林道沿いの標高600mほどの地点である。林道の路傍とイスノキなどからなる照葉樹林内で採集を行った。

(3) 佐多町 辺塚

佐多町の辺塚集落から県道辺塚～根占線を田代町方面へ至る道路沿いの標高500～600m付近の路傍や照葉樹林内で採集した。谷沿いには清流が流れ、樹高20mほどの割合原生的な森林が残されている。

(4) その他

- 佐多町 伊座敷：佐多町の中心市街地
- 佐多町大泊・田尻：大泊集落と田尻集落間の峠道周辺。風衝低木林を形成
- 佐多町 郡：郡川河口にある郡集落近く、郡川の支流沿い
- 佐多町 立切：佐多町古里集落と岩下集落間の旧道沿い
- 佐多町 大中尾：佐多町の大中尾集落から辺塚へ向かう県道沿い、大中尾峠付近
- 田代町 花瀬：県道辺塚・根占線の花瀬集落南方

2 採集した植物について

表は、今回の調査で採集した植物資料の一覧である。合計41科73種の高等植物を採集し標本にして収蔵した。短期間で限られた場所のみでの調査であるため採集種数はそれほど多くないが、大隅半島南部が北限や南限となっている種など、分布上注目すべき多くの種を採集することができた。ただ、採集日の直前まで台風16号の暴風が吹き荒れ、海岸や林内は海砂の浸食や落下した枝葉の堆積が著しく、めざした海浜植物や草本類で採集できなかったものもある。

表 大隅半島南部収集資料一覧

シダ植物 Pteridophyta

科名	和名	学名	採集地	備考
ハナヤスリ科	オオハナワラビ	<i>Botrychium japonicum</i>	根占町 木場岳	
リュウビнтаイ科	リュウビнтаイ	<i>Angiopteris lygodiiifolia</i>	佐多町 郡川中流	
コケシノブ科	ハイホラゴケ	<i>Crepidomanes birmanicum</i>	佐多町 郡川中流 根占町 木場岳	
ホングウシダ科	サイゴクホングウシダ	<i>Lindsaea odorata</i> var. <i>japonica</i>	佐多町 郡川中流	
ホウライシダ科	ホウライシダ	<i>Adiantum capillus</i>	佐多町 伊座敷	
イノモトソウ科	リュウキュウイノモトソウ	<i>Pteris ryukyuensis</i>	佐多町 伊座敷	
チャセンシダ科	ナンゴクホウビシダ	<i>Asplenium cataractarum</i>	佐多町 郡川中流	
	ヤクシマホウビシダ	<i>Asplenium filipes</i>	佐多町 辺塚	準北限
ツルキジノオ科	ヘツカシダ	<i>Bolbitis subcordata</i>	佐多町 郡川中流	準北限
オシダ科	オオカナワラビ	<i>Arachniodes amabilis</i>	佐多町 辺塚	
	コバノカナワラビ	<i>Arachniodes sporadosora</i>	佐多町 大泊・田尻	
	イノデモドキ	<i>Polystichum tagawanum</i>	根占町 木場岳	南限
ヒメシダ科	アラゲヒメワラビ	<i>Thelypteris torresiana</i> var. <i>torresiana</i>	佐多町 郡川中流	
イワデンド科	タニイヌワラビ	<i>Athyrium otophorum</i>	根占町 木場岳	準南限

[計 11科 14種]

種子植物 Spermatophyta

被子植物 Angiospermae 双子葉類 Dicotyledoneae

科名	和名	学名	採集地	備考	
コショウ科	サダソウ	<i>Peperomia japonica</i>	佐多町 郡		
ブナ科	ケウバメガシ	<i>Quercus phillyraeoides</i> f. <i>wrightii</i>	佐多町 立切		
イラクサ科	トガリバヤブマオ	<i>Boehmeria longispica</i>	佐多町 辺塚		
	ケナガバヤブマオ	<i>Boehmeria sieboldiana</i>	佐多町 郡川中流		
	ハドノキ		<i>Oreocnide pedunculata</i>	佐多町 郡	
				佐多町 郡川中流	
	キミズ	<i>Pellionia scabra</i>	佐多町 郡川中流		
	ミヤマミズ	<i>Pilea petiolaris</i>	根占町 木場岳		
アリサンミズ	<i>Pilea brevicornuta</i>	佐多町 郡川中流	北限		
ヒユ科	ハチジョウイノコズチ	<i>Achyranthes bidentata</i> var. <i>hachijoensis</i>	根占町 木場岳		

科名	和名	学名	採集地	備考
キンポウゲ科	アキカラマツ	<i>Thalictrum minus</i>	佐多町 辺塚	
モクレン科	オガタマノキ	<i>Michelia compressa</i>	佐多町大泊・田尻	
クスノキ科	マルバニッケイ	<i>Cinnamomum daphnoides</i>	佐多町 田尻	準北限
ユキノシタ科	クサアジサイ	<i>Cardiandra alternifolia</i>	佐多町 辺塚	南限
	ノリウツギ	<i>Hydrangea paniculata</i>	根占町 木場岳	準南限
	コンテリギ	<i>Hydrangea scandens</i>	根占町 木場岳	
	シコクチャルメルソウ	<i>Mitella stylosa</i>	佐多町 辺塚	南限
	イワガラミ	<i>Schizophragma hydrangeoides</i>	根占町 木場岳	準南限
マメ科	リュウキュウヌスビトハギ	<i>Desmodium laxum</i> subsp. <i>laterale</i>	佐多町 郡川中流	準北限
	ヌスビトハギ	<i>Desmodium podocarpum</i> subsp. <i>oxyphyllum</i>	根占町 木場岳 佐多町 辺塚	
ミカン科	マツカゼソウ	<i>Boeninghausenia japonica</i>	根占町 木場岳	南限
	タチバナ	<i>Citrus tachibana</i>	佐多町 田尻	
モチノキ科	ツゲモチ	<i>Ilex goshiensis</i>	佐多町 郡川中流	準北限
	ツクシイヌツゲ	<i>Ilex crenata</i> var. <i>fukasawana</i>	根占町 木場岳	準南限
ムクロジ科	ムクロジ	<i>Sapindus mukorossi</i>	佐多町 郡	
クロウメモドキ科	ナンゴクオオクマヤナギ	<i>Berchemia racemosa</i> var. <i>luxurians</i>	根占町 木場岳	準北限
ジンチョウゲ科	キガンピ	<i>Diplomorpha trichotoma</i>	根占町 木場岳	南限
セリ科	ヒメノダケ	<i>Angelica</i> <i>cartilagino-marginata</i>	佐多町 大中尾	南限
	ノダケ	<i>Angelica decursiva</i>	佐多町 大中尾	南限
	シシウド	<i>Angelica pubescens</i>	田代町 花瀬	南限
ヤブコウジ科	シマイズセンリョウ	<i>Maesa tenera</i>	佐多町 郡川中流	準北限
リンドウ科	ヘツカリンドウ	<i>Swertia tashiroi</i>	根占町 木場岳	北限
キョウチクトウ科	リュウキュウテイカカズラ	<i>Trachelospermum gracilipes</i> var. <i>liukiuense</i>	佐多町 立切	準北限
ガガイモ科	ナンゴクカモメズル	<i>Cynanchum austrokiusianum</i>	佐多町 郡川中流	
	サクララン	<i>Hoya carnosa</i>	佐多町 郡	準北限
	キジョラン	<i>Marsdenia tomentosa</i>	佐多町 郡	
	オオカモメズル	<i>Tylophora aristolochioides</i>	根占町 木場岳	準南限
	ツルモウリンカ	<i>Tylophora tanakae</i>	佐多町 辺塚 佐多町 大泊	

科名	和名	学名	採集地	備考
ヒルガオ科	ホルトカズラ	<i>Erycibe henryi</i>	佐多町 郡	北限
クマツヅラ科	オオムラサキシキブ	<i>Callicarpa japonica</i> var. <i>luxurians</i>	佐多町 郡川中流	
シソ科	ハルノタムラソウ	<i>Salvia ranzaniana</i>	佐多町 辺塚	南限
	ツルニガクサ	<i>Teucrium viscidum</i>	佐多町 辺塚	準南限
ゴマノハグサ科	トラノオスズカケ	<i>Veronicastrum axillare</i>	佐多町 立切	南限
アカネ科	クチナシ	<i>Gradenia jasminoides</i>	佐多町 大泊・田尻	
	ヘクソカズラ	<i>Paederia scandens</i>	佐多町 辺塚	
	ヘツカニガキ	<i>Sinoadina racemosa</i>	佐多町 郡	
キク科	オトコヨモギ	<i>Artemisia japonica</i>	根占町 木場岳	
	ヒヨドリバナ	<i>Eupatorium chinense</i>	根占町 木場岳	準南限

[計 25科 47種]

単子葉類 Monocotyledoneae

科名	和名	学名	採集地	備考
イネ科	ゲンケイチク	<i>Pleioblastus masamuneana</i>	佐多町 大泊・田尻	北限
ユリ科	ヒメヤブラン	<i>Liriope minor</i>	佐多町 辺塚	
	ハマサルトリイバラ	<i>Smilax sebeana</i>	佐多町 大泊	
ヤマノイモ科	カエデドコロ	<i>Dioscorea quinqueloba</i>	佐多町 辺塚	
ヒナノシャクジョウ科	キリシマシャクジョウ	<i>Burmannia liukiensis</i>	佐多町 辺塚	準南限
ラン科	ナツエビネ	<i>Calanthe reflexa</i>	根占町 木場岳	南限
	アケボノシュスラン	<i>Goodyera folisa</i>	佐多町 辺塚	
	ミヤマウズラ	<i>Goodyera schlechtendaliana</i>	根占町 木場岳	
	ムカゴトンボ	<i>Habenaria flagellifera</i>	根占町 木場岳	
	ヤクシマアカシュスラン	<i>Hetaeria cristata</i>	佐多町 郡川中流 佐多町 辺塚	
	ユウコクラン	<i>Liparis formosana</i>	佐多町 郡川中流	準北限

[計 5科 11種]

総計 41科 72種

以下、採集したこれらの植物について得られた若干の知見をまとめてみる。

(1) 大隅半島南部が分布の南限となる植物 [表中の備考欄は「南限」と記載]

① イノデモドキ *Polystichum tagawanum* オシダ科

東北地方から九州南部の山地の湿った林内に分布する常緑のシダ植物。南限は薩摩半島では野間岳、大隅半島では稲尾岳とされている。稲尾岳と同緯度の木場岳で採集した。

② クサアジサイ *Cardiandra alternifolia* ユキノシタ科

本州から九州までの山地の湿った林内に生える多年草。南限は薩摩半島で川辺町神殿、大隅半島で稲尾岳とされている。稲尾岳西方の佐多町内で採集した。

③ シコクチャルメルソウ *Mitella stylosa* ユキノシタ科

四国と九州南部の溪流沿いの林内に生える多年草で、九州では熊本県南部と大隅半島中南部が唯一の生育地である。南限は稲尾岳とされ、今回の採集地も稲尾岳西方の佐多町内である。なお、この種は当館における初収蔵資料である。

④ マツカゼソウ *Boenninghausenia japonica* ミカン科

本州から九州までのやや湿った林内に生える多年草。南限は佐多町の辺塚となっており、採集地もそこに近い木場岳北斜面の大鹿倉林道沿いの林内である。

⑤ キガンピ *Diplomorpha trichotoma* ジンチョウゲ科

近畿地方から九州までの山に生える落葉の低木で、南限は大隅半島田代町の花瀬とされている。今回の採集地は、花瀬よりやや南方の木場岳である。

⑥ ヒメノダケ *Angelica cartilagino-marginata* セリ科

近畿地方から九州までの草地や林縁に生える多年草で、南限地は佐多町の大中尾とされており、今回その南限地である県道沿いで採集した。

⑦ ノダケ *Angelica decursiva* セリ科

関東地方から九州までの山野に生える多年草で、南限地は薩摩半島で開聞町、大隅半島は根占町の野尻野とされている。採集地の佐多町大中尾は野尻野の東方で同緯度になる。

⑧ シシウド *Angelica pubescens* セリ科

本州から九州までの山野に生える大型の多年草で、本県の自生地は大隅半島の中南部に限られている。採集した田代町の花瀬はその南限地に相当する。

⑨ ハルノタムラソウ *Salvia ranzaniana* シソ科

紀伊半島から九州のやや湿った林内に生える多年草で、本県では北部と大隅半島を中心に自生地がある。採集した佐多町辺塚の稲尾岳西斜面は、ほぼ南限地にあたる。

⑩ トラノオスズカケ *Veronicastrum axillare* ゴマノハグサ科

四国南部と九州の湿った林縁に生えるつる性の多年草で、本県でも点的に分布している。南限地は薩摩半島では開聞岳、大隅半島は佐多町南端の大泊となっており、採集地の立切は大泊の北方にあたる。

⑪ ナツエビネ *Calanthe reflexa* ラン科

本州から九州のやや湿った林内に生える常緑の地生ランで、南限地は大隅半島の稲尾岳とされている。今回の採集地もほぼ同緯度の木場岳である。

(2) 大隅半島南部を分布の北限とする植物 [表中の備考欄は「北限」と記載]

① アリサンミズ *Pilea brevicornuta* イラクサ科

薩摩半島には分布せず、甌島と大隅半島南部を北限とするミズ属の1年草で、山地のやや湿った林内に生える。採集地の佐多町郡川中流域が大隅半島での北限地と考えられる。

② ヘツカリンドウ *Swertia tashiroi* リンドウ科

大隅半島中南部を北限とし、南西諸島から沖縄まで分布する常緑の多年草で、林内や林縁に生える。名前のヘツカは佐多町の辺塚集落付近で初めて採集されたことによる。

③ ホルトカズラ *Erycibe henryi* ヒルガオ科

九州南端から南西諸島、台湾にかけて分布するつる性の常緑木本で、北限地は薩摩半島の野間岳と今回採集した大隅半島の佐多町である。

④ ゲンケイチク（クリオザサ） *Pleiblastus masamuneana* イネ科

これまで種子島北端と屋久島の栗生にのみ生育が知られていたササのなかまで、今回初めて九州本土で確認されたと考えられる。採集地の佐多町大泊と田尻間の峠道の脇には、樹高10mほどの低木林が生え、その中におよそ10m四方にわたって純群落が形成されていた。半日陰で生育はあまりよくないが、普通地下茎でしか繁殖しないことを考えると、以前から自生していたのか人為的に植栽されたかは不明である。今後、大隅半島の他地域で自生がないかを調べる必要がある。

(3) 南限地が大隅半島南部域にほど近い北方系の植物 [表中の備考欄は「準南限」と記載]

① タニイヌワラビ *Athyrium otophorum* イワデンダ科

東北～九州に分布、南限は屋久島

② ノリウツギ *Hydrangea paniculata* ユキノシタ科

北海道～九州に分布、南限は屋久島

③ イワガラミ *Schizophragma hydrangeoides* ユキノシタ科

分布は同上、南限も同じ

④ ツクシイヌツゲ *Ilex crenata* var. *fukasawana* モチノキ科

九州固有種、南限は屋久島

⑤ オオカモメズル *Tylophora aristolochioides* ガガイモ科

北海道～九州に分布、南限は三島

⑥ ツルニガクサ *Teucrium viscidum* シソ科 北海道～九州に分布、南限は屋久島

⑦ ヒヨドリバナ *Eupatorium chinense* キク科 北海道～九州に分布、南限は種子島

⑧ キリシマシャクジョウ *Burmannia liukuensis* ヒナノシャクジョウ科

四国・九州南部に分布、南限は種子島

(4) 北限地が大隅半島南部域にほど近い南方系の植物 [表中の備考欄は「準北限」と記載]

① ヤクシマホウビシダ *Asplenium filipes* チャセンシダ科 和歌山県が北限だが九州

での分布は大隅半島南部のみ、奄美大島が南限

② ヘツカシダ *Bolbitis subcordata* ツルキジノオ科 大隅半島中南部～南西諸島、

台湾、中国南部、インドシナに分布、北限は高隈山

③ マルバニッケイ *Cinnamomum daphnoides* クスノキ科 薩摩・大隅半島南部～奄

美大島北部に分布、北限は鹿屋

④ リュウキュウヌスビトハギ *Desmodium laxum* subsp. *laterale* マメ科 九州南部

～東南アジア、セイロンまで分布、北限は薩摩半島中南部と大隅半島の内之浦

- ⑤ ツゲモチ *Ilex goshiensis* モチノキ科 紀伊半島南部，九州～琉球に分布
- ⑥ ナンゴクオオクマヤナギ *Berchemia racemosa* var. *luxurians* クロウメモドキ科
 県本土中南部～屋久島，三島，トカラ列島に分布，北限は甌島
- ⑦ シマイズセンリョウ *Maesa tenera* ヤブコウジ科 九州南部～南西諸島，台湾，中国
 南部に分布，北限は下甌島
- ⑧ リュウキュウテイカズラ *Trachelospermum gracilipes* var. *liukiense* キョウ
 チクトウ科 九州南部～南西諸島に分布，北限は甌島
- ⑨ サクララン *Hoya carnosa* ガガイモ科 九州南部～南西諸島，熱帯アジアに広く分
 布，北限は大隅半島中部から宮崎県南部の沿岸部
- ⑩ ユウコ克蘭 *Liparis formosana* ラン科 九州南部～南西諸島，東南アジア，イ
 ンドまで分布，北限は薩摩・大隅半島の中部

おわりに

以上，大隅半島南部域において収集した41科73種の植物についてその概要を報告した。わずか3日間という短い期間であり，台風の影響もあって採集できた場所も限られているが，クサアジサイやキガンピなど当地域が南限にあたる11種の植物と，ホルトカズラなど当地が北限にあたる4種の植物，さらにこの地域が南限や北限に近い分布上貴重な植物を多数採集し，標本として収蔵することができた。また，シコクチャルメルソウのように当館初の収蔵資料も採集できた。

先にも述べたように，この大隅半島南部地域は海岸線から標高の高い山岳地まで多様な自然環境に恵まれている。海岸や低地は奄美・沖縄に生育する熱帯・亜熱帯植物の北限地となり，標高の高い山々は北海道から九州に生育する温帯植物の南限地となるなど，植物分布上重要な位置にあると考えられる。しかし，森林伐採や農地開拓等で原生的な自然はほとんど失われ，局所的に残存するにすぎない。そのため植物の生育状況も悪化の一途をたどり，絶滅の危機に瀕している植物もあるといわれる。

一方，太平洋岸の山地など自然の豊富な一帯には，報告されている以外にも分布上貴重な植物が残っている可能性がある。今後も植物の分布調査や資料収集を継続的に実施していくことで，植物の分布域の変更や新たな帰化植物の定着などの新知見を得る可能性も高いと考えられる。

引用・参考文献

- 岩槻邦男編，1992，日本の野生植物シダ．平凡社，東京
- 川越良昭，1997，大隅の植物相．鹿児島県の自然調査事業報告書Ⅳ 大隅の自然，19-25，鹿児島県立博物館
- 鹿児島県環境生活部環境保護課，2003，鹿児島県の絶滅のおそれのある野生動植物 植物編－鹿児島県レッドデータブック－．財団法人鹿児島県環境技術協会
- 佐竹義輔他・編，1981，日本の野生植物草本Ⅰ～Ⅲ．平凡社，東京
- 佐竹義輔他・編，1989，日本の野生植物木本Ⅰ～Ⅱ．平凡社，東京
- 下園哲也，1997，稲尾岳の植物相．鹿児島県の自然調査事業報告書Ⅳ 大隅の自然，91-96，鹿児島県立博物館
- 初島住彦，1986，改訂鹿児島県の植物目録．1-290，鹿児島

大隅半島南部の採集植物



クサアジサイ (南限種)



ツルモウリンカ



サダソウ



シコクチャルメルソウ (南限種)



ムカゴトンボ



キリシマシャクジョウ
(準南限種)



ナンゴクカモメズル